

記念式典であいさつする河上宗勝社長＝岐阜市長良、岐阜グランドホテル



河上薬品商事、50周年祝う

記念式典「今まで以上に精進」

配置薬事業、飲料水販売を手がける河上薬品商事(関市関口町)は、設立50周年記念式典を岐阜市長良の岐阜グランドホテルで開き、取引先や地元政財界関係者ら約300人が半世紀の節目を祝った。

河上薬品商事は1974年4月に設立。配置薬事業で営業エリアを広げ、2012年には飲料水事業に参入。配置薬事業は企業の場合、買収(M&A)を進め、河上薬品グループとして全

国に営業エリアを拡大した。

今年2月には持ち株会社カワカミホールディングスを設立し、グループの中核企業として事業会社11社を統括する。グループの社員は約800人で、2024年3月期の売上高は242億円、25年3月期は約300億円を見込む。

河上宗勝社長は、社業の変遷や東日本大震災を機に飲料水事業への参入を決断した思い出を振り返り、「取

引先、地域の皆さん、社員の協力でこの日を迎えられた」と感謝。「社員、業界、世の中のため今まで以上に精進したい」と語った。会社として関市に1千万円、個人として岐阜薬科大に1千万円を寄付し、山下清司市長、原英彰学長に目録を手渡した。

社歌「〜ありがとう〜」の披露のほか、群馬県板倉町に建設中の飲料水製造工場が来年2月に出荷を開始する見通しも示された。